

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 49

学校名・団体名	浜松市立伊目小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	学校と地域が連携し子供の心を育む三世代交流事業
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>〈活動・研究の意義〉</p> <p>浜松市立伊目小学校は、本年度で創立70周年を迎えた。伊目小学校には、地域と連携して子供の心を育む三世代交流事業がある。学校・保護者・自治会・諸団体が連携して実施する、生き生き学校、伊目大運動会、門松づくりは、学校行事として定着している。平成2年からは、自治会が中心となり設立した「明るい伊目地区をつくる会」が組織的に、この事業を支援し、心身とも健全な子供の育成を図っている。</p> <p>〈活動報告〉</p> <p>[平成30年度の活動経緯]</p> <p>4月 第1回明るい伊目地区をつくる会推進委員会、第1回生き生き学校実行委員会 40名 参加団体；PTA、学校、幼稚園、自治会、みのり会、子供会、祭典・体育推進委員 活動内容；年間計画の確認と昨年度の反省を確認する会議</p> <p>5月 第2回生き生き学校実行委員会 40名 参加団体；PTA、学校、幼稚園、自治会、みのり会、子供会、祭典・体育推進委員 活動内容；生き生き学校の概要共通理解、役割分担の確認</p> <p>6月 生き生き学校拡大実行委員会 生き生き学校準備説明会 約100名 参加団体；PTA、学校、自治会 活動内容；生き生き学校の計画（遠泳大会、昼食、川遊び、夜の活動、宿泊体験、朝食づくり、みのり会との交流）の具体的な提案と説明</p> <p>7月 生き生き学校 約300名 参加団体；PTA、学校、幼稚園、自治会、みのり会、子供会、祭典・体育推進委員</p> <p>1日目；遠泳大会（500mまたは1,000m：検定に合格した4年生以上）→昼食（保護者手作りのカレー）→川遊び（全児童）→夜の学校体験（全児童）→学校宿泊体験（3年生以上）</p> <p>2日目；朝食作り（児童、保護者、地域の方）→みのり会との交流（輪投げ、グランドゴルフ、手踊り）</p> <p>9月 伊目大運動会 約300名 参加団体；PTA、学校、幼稚園、自治会、みのり会、祭典・体育推進委員 活動内容；学校、幼稚園、自治会をはじめとした伊目地区の全体団体が参加する運動会</p> <p>11月 伊目っ子発表会 約300名 参加団体；PTA、学校 活動内容；地域の方から学んだことを発表 地域の協力者；みかん農家、選果場等</p> <p>12月 門松づくり 約50名 参加団体；学校、みのり会、PTA三役 活動内容；6年生が門松の由来を調べ、実際に地域の方と門松を作る</p> <p>2月 第2回明るい伊目地区をつくる会推進委員会 40名 参加団体；PTA、学校、幼稚園、自治会、みのり会、子供会、祭典・体育推進委員 活動内容；1年間の反省と次年度に向けての会議</p> <p>〈活動の実際〉</p>	

1 生き生き学校

「生き生き学校」は、三世代交流事業の中核となる行事である。本年度は7月7日～8日に実施した。活動場所は、浜名湖を始めとした地域の自然や学校施設である。

① 遠泳大会（やりぬく力をつける）

本校の南と西には浜名湖が広がっており、そこが遠泳大会の場とした。遠泳大会には、4年生以上の平泳ぎ・自由型のフォームと距離の検定合格者が参加し、泳力に応じて500mと1,000mで行った。遠泳大会は、4月の推進委員会、5月の実行委員会、6月の拡大実行委員会、準備説明会を経て実施した。安全確保のため、水質検査を始め、子供の泳ぎを見守る伴泳者の練習や実際に泳ぐ試泳をした。また、当日は、漁協等の協力により船上からの見守りにより安全を確保した。（写真）

保護者は、昼食のカレーづくりをして、子供たちや地域の方の労をねぎらった。



写真/地域の方に見守られた遠泳大会

② 川遊び（自然との触れ合い）

学校の近くを流れる神田川（じんでんがわ）で、縦割り班で水鉄砲のペットボトル倒しなどのゲームで学年間の交流を深めた。川遊びは、体育推進委員や子供会役員が見守った。1週間前に、地域の方や保護者・教職員・子供たちが神田川の川底清掃や草刈りをし活動環境を整えた。

③ みのり会（高齢者）との交流

みのり会の方は、「輪投げ」「盆踊り」「グランドゴルフ」などで子供たちと交流した。この活動には低学年の他に、本校への入学予定の幼稚園児も参加した。

この他に、学校宿泊体験や朝食づくりを行い友だちやPTA・地域の方との交流を深めた。

2 伊目大運動会

伊目大運動会は、雨が心配された9月22日（土）に実施した。子供たちが、地域の方と違和感なく競技に参加している姿は、歴史を感じた。なお、本年度は創立70周年であるため、入場行進やダンスでお揃いのマフラータオルで入場し運動会を盛り上げた。

3 門松づくり

門松づくりは、12月17日（月）に地元の造園業の方やみのり会、自治会、PTAの指導で6年生が実施した。事前に門松の由来を調べるなど、伝統文化についても学んだ。正門に飾られる門松は、今日では伊目小の風物詩である。なお、竹などの門松の材料は地域から提供された。

<子供たちの声>

- ・1000mという距離は、やはり長く、無事完泳できるかととても心配でした。5年生の遠泳大会では、500mを完泳できたので自信はあったのですが、実際に浜名湖に入ってみると、とても水は冷たくて、足もつかず、パニックになってしまいました。でも、下級生や地域の皆さんが応援してくれたおかげで、だんだん緊張もとけ、水に慣れてきました。一緒に泳いでくださった地域の方が「あと少し、がんばって。」と励ましてくださったので、あきらめずに最後まで泳ぎ切ることができました。ぼく一人だけの力では、完泳できなかったと思います。人の温かさに気付くことができた遠泳大会でした。（6年）
- ・さいごのぜん校リレーは、とてもドキドキしました。ひっしにはしりました。なかよしはんのみんなで、力をあわせてはしったのが、たのしかったです。おとうさんとおかあさんとようちえんのいもうとが、おうえんしてくれました。おうえんしてくれたので、はやくはしることができました。（1年）
- ・伊目小学校では、6年生になると門松づくりがあります。ぼくは、初体験なのでとても楽しみでした。今年も、山下さんが教えて下さいました。作業が始まり、ぼくは、山下さんが竹を切るのを押さえていました。このとき山下さんが、「竹を縄でしばる時に巻く数は奇数にすること」を話してくれました。奇数は縁起が良い数だからだそうです。巻く場所は3カ所あり、それぞれ三巻き、五巻き、七巻きとすることも教えてくれました。最後は、飾り付けで縁起が良い「だいたい」を付けて、立派な門松が完成しました。（6年）

2018年(平成30年)9月25日(火曜日)

家族や地いきの人 大切

加茂 陸斗 浜松市伊目小5年
 ぼくの家は、お父さん、お母さん、弟、おじいさん、おばあさん、ひいおばあさんの7人家族です。ぼくにとって家族はとても大切です。なぜなら話ができるからです。

もし1人だと、話もできずにさみしい思いをしてしまうからです。家族がいるといういろいろな話ができ楽しいです。

また、ぼくが通っている小学校では夏休みの前に「生き生き学校」という行事があります。この行事では、たくさん地いきの人たちがお手伝いをしてくれます。遠泳大会、川遊び、みのり会との交流、ぼんおどりなどたくさん活動を地域の人たちとやります。

ぼくは、地いきの人がいるから楽しいことを安心してできるのだと思います。なので、地いきの人たちを大切にしたいと思っています。家族や地いきの人にとても感謝しています。

わかば